

マクロ学会通信

2016年1月 No.260

あけましておめでとうございます。

2016年も1年間、よろしくお願いいたします。

本年より、学会会員相互の意見交換の場として、「マクロ学会通信」に「**会員近況**」を今後不定期に掲載していく予定です。本年も旧年に変わらぬご厚誼を賜りたく存じます。

学会理事長 茂木 創

お知らせ

■ 2015年度年次研究大会

以下の日程にて2015年度日本マクロエンジニアリング学会年次研究大会を開催いたします。

1. 日 時：2016年2月20日(土)14時から18時
2. 場 所：拓殖大学(文京キャンパス) C603
尚、内容等は決まり次第ご連絡いたします。

■ 2015年度 第3回理事会

1. 日 時：2016年2月20日(土)11時から12時30分
2. 場 所：拓殖大学(文京キャンパス) C602

■ 経済工学研究会からのお知らせ

経済工学研究会の会合を下記のように開催いたします。

1. 日 時：2016年1月23日(土)12:30-14:30
2. 会 場：拓殖大学文京キャンパス D306
3. 報 告：釣雅雄 会員(岡山大学)
4. 演 題：「民間消費からみた日本経済の現状および経済財政政策(軽減税率等)の影響」
(講演者略歴については「マクロ学会通信」No. 259号をご参照ください)

当日は昼食・飲み物等は用意しませんので、必要な方はご持参ください。よろしくお願いいたします。

6: お問い合わせ：吉野文雄(学会会長)

拓殖大学国際学部

193-0985 東京都八王子市館町 815-1

電話 042-665-1539

fyoshino@ner.takushoku-u.ac.jp

URL <http://homepage3.nifty.com/fyasia/>

会員近況

■ 松岡秀雄会員から

「年頭の所感」

明けましておめでとうございます。

喜寿を迎えることになってしまった昨年ですが、久し振りに海外学術講演を行う羽目になりました。EUの下部機関であるEASAが担当するICASS2015という航空先進諸国間の「政府機関」による非公開

の会議があり、しがた「老兵」如きに、それも2週間前に「発注」が来て、急きょ対応したものです。

各国持ち回りで毎年開催されているICASS会議は、発足後20数年になります。経緯(いきさつ)があって、当初よりディスカッサントとして、オブザーバー参加するのが通例でした。正規メンバーは数年で交代しますが、オブザーバーの私は「代わらない何時までも」状況です。

会場はEASA本部のあるドイツはケルンでしたが、ケルンへはオランダのアムステルダムから鉄道で向かい、1週間滞在することになったケルンからは、同じく鉄道でフランスのパリへと出ました。連れ合いを同行していましたが、パリでは暫らく時を過ごしましたが、全日程が2週間も遅れていたら、例のテロ事件に遭遇するところでした。アムステルダムへの出国はオランダ航空(KLM)で、パリからの帰国はフランス航空(AF)に依りました。

講演は最近のエアロスペース事故に関する若干のコメントということで、二つのフェイタル・アクシデント(致命事故)を話題にしました。昨年3月24日に発生したジャーマン・ウイングスのアルプス山脈での墜落(搭乗者全員死亡)、そして一昨年10月30日に発生したスペースシップ・ツー(SS2)の試験飛行中のモハベ砂漠での墜落です。

事故原因はいずれもが運航要員のヒューマン・ファクター(人的要因)とされています。この種の案件について日本では、死者を鎮魂すべく「下手人」を血祭りにあげるといった伝統的な「日本文化」に規定されているためか、とかくヒューマン・エラーと「判決」が下されてしまっているようです。

残り少なくなった人生ですが、事故原因はヒューマン・ファクターであるとして、「同種事故再発防止から新種事故未然防止へ」を座右の銘とする私の新年が事故を媒介に、奥の深いところもある人間存在の本質に些かでも迫る端緒になればと願っている次第です。

皆様方におかれましても、新しい年が恵み豊かなものとなりますよう祈念しております。

平成28年元旦

松岡秀雄

(注)「**会員近況**」は学会の公式見解を示すものではありませんので、自由に事務局までご連絡ください。

事務局より

会費納入のお願い

引き続き会費納入にご協力くださいませ。